



Design

～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

地域包括ケア病棟広報誌Design号外24号です。表面は、“彩り”で受け入れした事例の紹介です。裏面は、老健やましろからの報告と認知症疾患医療センターからのお知らせです。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)

地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介（第42回）

～患者さんの貴重な時間に関わって～

Design39号で事例紹介させて頂いた患者さんです。その後、患者さん本人・ご家族と退院先について相談し、身の回りのことがある程度ご自分で可能な方が入居可能な施設への入居を目指すことになりました。

39号で紹介させて頂いて以降、理学療法士による継続した訓練により、1本杖での歩行が数十メートル可能な状態まで回復されました。また、昼食前の集団体操にも積極的に参加されるようになりました。最近では、「病室に居ても退屈やから」と、デイルームまで一人で出てこられ、秋、病棟で企画している秋祭りの飾りつけ作業を手伝ってくださり、「仕事があって良かったわ」と笑顔でおっしゃっています。また、他の患者さんのご家族に「(病院から)賃金は出ないって言われています」と冗談を言い、笑いを誘っておられました。

退院後に入居される施設では、薬の管理や義歯の装着、衣類の着脱動作など、身の回りのことをご自分でして頂く必要があるため、病棟Nsや薬剤師と相談し、可能な限りご自分でして頂くよう促しました。結果、身の回りのことは概ねご自分でできるようになられ、私の気のせいかも知れませんが、心なしか自信を取り戻された力強い表情になられたように感じています。入院当初の弱々しい表情はありません。

高齢患者さんの1日、1週間、1ヶ月はとても貴重です。貴重な時間のほんの少しですが、関わりを持たせて頂き、患者さんが安心して地域に戻れるお手伝いができたことが嬉しく、明日からの仕事をする上でのモチベーションにもつながっています。

“彩り”への入院相談、お待ちしております。お気軽にお問い合わせ下さい。

(地域医療連携室 室長 南出 弦)

お気軽にお問い合わせ下さい

地域包括ケア病棟“彩り”では、随時、入院患者さんの受け入れをしています。お気軽にお問い合わせ下さい。医療ケアが必要なために介護施設のショートステイが利用できない、集中してリハビリしたい、介護者の急な入院に伴って介護するものがない、などの場合、受け入れさせて頂きます。問い合わせ先：0774-73-1818（担当：中野・中嶋）

老健やましろより

～ 夏祭り ～



老健やましろでは、8月4日に夏まつりを開催しました。夏まつりは、レクリエーション委員会が中心になって何ヶ月も前から準備を行い、ご利用者様・ご家族様・スタッフみんなと一緒に楽しく一大イベントです。この日はスタッフも、浴衣や法被姿で雰囲気盛り上げます。

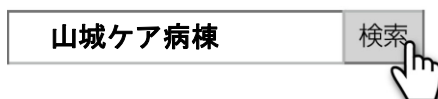
夏まつり開始とともに、施設内には祭囃子や民謡などの音楽が流れ、おみこしがフロアを練り歩き、夏まつりの気分が一気に盛り上がります。1階フロアは全面開放され、ヨーヨーすくい、一円玉落とし、脱線ゲーム、くじ引き、射的、フルーツポンチ屋さんなどの出店が並び、その出店をまわるご利用者様、ご家族様、スタッフの笑顔や笑い声が飛び交いました。特にご利用者様に人気があるのは射的。男性、女性を問わず、皆様とても真剣に的を狙い、3発中3発、全ての的に的中されたご利用者様もいらっしゃいました。

当日は猛暑でしたが、大勢のご家族様にご協力、ご参加いただき、今年も大変にぎやかに、楽しいひとときを過ごすことができました。ありがとうございました。

(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

「山城ケア病棟」と検索下さい。

地域包括ケア病棟広報誌“Design”のバックナンバーがご覧頂けます。もちろん、スマホでもご覧頂けますので、お気軽にアクセスして下さい。



令和元年度第1回 認知症疾患医療連携協議会のお知らせ

～ 傍聴して頂けます ～

以下の日程で、令和元年度第1回認知症疾患医療連携協議会を開催します。協議会に出席をお願いしている方には個別に依頼文を送付していますが、この協議会は傍聴可能としていますので、お気軽にご参加下さい。お待ちしております（事前申し込み不要です）。

*

日時：令和元年8月19日（月）午後2時00分～午後3時30分

会場：当院9階会議室

内容：認知症ケアパスについて・意見交換

問い合わせ先：0774-73-6363（直通）（担当：谷川・南出）

